






入院診療計画書 「カテーテルアブレーション②を受けられる さんへ 」

疾患名( ) 症状(胸痛・動悸 ) 説明日( 年 月 日 ) (ご本人・ご家族) 確認サイン

月 日	月 日	治療当日 月 日		月 日 ~ 月 日
経過	入院時	治療前	治療後	治療後1日目～退院
到達目標	治療までのスケジュールがわかり安心して治療を受けることができる。当日の安静が守れ合併症なく経過する。			
治療処置	身長・体重を測定いたします。 脈拍確認のため足の甲に印をつけます。 心電図モニタを装着します。	治療前から点滴をいたします。 尿の管を入れます。	安静時間終了後、ベルトの圧迫を外し 創部に絆創膏を貼ります。 	翌朝、尿の管を抜きます。 穿刺部の観察をいたします。 心電図モニタは指示があるまで装着します。
手術	□無・□有 (術式: )			
検査	必要に応じ以下の検査をいたします。 ・心電図、レントゲン	追加の検査がある場合はお知らせいたします。		心機能を評価する検査を行うことがあります。 ・心電図検査 ・必要に応じ採血を行います。
薬剤服薬指導	日ごろ飲んでいる薬や、薬のアレルギーがあればお知らせください。治療前に中止になる薬もあります。	抗生剤を内服します。 食道や胃の粘膜保護のため食前薬が開始になります。 内服薬の変更がある場合はお伝えします。		
全身管理	体温・脈拍・血圧など測ります。 今までにかかった病気などについて伺います。 胸痛があるときはすぐに知らせてください。	治療前に体温、脈拍、血圧を測定いたします。 	適宜体温、脈拍、血圧を測定します。 胸の痛みや手や足の痺れ、吐き気があるときはすぐにお知らせください。	体温、脈拍、血圧を測定します。 
食事栄養指導	普通食か治療食です 特別な栄養管理の必要性 □有 □無 	朝食は絶食になります。 飲水はできます。	治療直後より飲水できます。 検査終了後1時間より食事ができます。(安静時間中は介助での摂取となります)	普通食か治療食です。 
安静	制限はありません。	ベッドで治療へ行きます。 帰宅後は穿刺部(大腿、内頸)を止血のために圧迫します。圧迫が外れるまで絶対安静ですので起き上がることや膝を曲げることができません。安静時間は6～7時間ですがカテーテルの大きさや止血方法により安静時間が変更になりますのでその都度お伝えします。		穿刺部に問題がなければ制限はありません。 
清潔	シャワー浴ができます。 	点滴を行う前にシャワーができます。治療前に浴衣式の病衣に着替えます。時計、眼鏡、コンタクト、湿布、入れ歯を外し検査室へ行きます。		治療後2日目以降は入浴ができます。
患者さん・ご家族への説明	入院診療計画書、入院生活について説明いたします。 治療室で必要のためバスタオル(2枚)のご準備をお願いします。 治療・福祉などのご相談がある場合は、看護師か相談員にお尋ねください。	治療同意書の提出をお願いします。 治療の際はご家族の同席をお願いします。	主治医が治療直後または退院までに治療結果について説明いたします。	自分で脈を測る練習を行います。 原則として退院は午前中(土日は午後)にお願いいたします。 退院後の注意事項や外来予約について説明いたします。

※ 症状により、予定と異なる場合があります。分からないことがあれば、お気軽に主治医や看護師にお尋ねください。

※ なお、この計画書を病院側から受け取られた後は、患者さんの責任の下、保管していただきますようお願い申し上げます。

( 病棟 号室 ) 担当医 印 担当看護師署名 担当者署名